

那須烏山市議会議長
相馬 正典 様

(議席番号) 9番 青木 敏 久



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 「共話」による行政運営と市民参画の再構築について	最新の国勢調査速報値において本市の急激な人口減少と厳しい財政状況が浮き彫りとなるなか、危機を乗り越えるためには行政の一方的な施策推進ではなく、市民と対話し共に課題を解決する「共話」のまちづくりが不可欠である。市長の政治理念である「対話」の実践、多様な異論を受け止める制度設計、他自治体の先進事例を踏まえた新たな会議体の検討、ならびに新庁舎整備計画における優先順位と合意形成について市長の所見を伺う。 ① 政治理念「対話」の位置づけと実績・具体化について 市長が掲げる「対話」の理念を現在の行政運営にどのように反映・実践しているか。過去の対話実績および今後の機会拡充に対する所見を伺う。 ② 多様な意見や異論を反映する制度的仕組みについて 「オール那須烏山」等の理念が同調圧力を生むことなく、多様な反対意見や異論を包摂・集約して政策決定に活かすための制度的仕組みおよび新設の意向について伺う。 ③ 「フューチャー・デザイン」等の視点を取り入れた市民が主体的かつ継続的に議論・提言できる協議の場の創設について 宿毛市や富岡市等の無作為抽出による住民会議事例、ならびに流山市等のまちづくり事例を参考に、行政主導を脱却した市民主体の会議体を創設・検討する意向について伺う。 ④ 新庁舎整備計画における施策の優先順位と市民意見の反映について 深刻化する人口減少や公共施設維持管理経費の急増といった長期的財政リスクを踏まえ、新庁舎整備事業の位置付けおよび施策の優先順位について所見を伺う。また、将来にわたる地域社会のあり方を見据え、市民との丁寧な合意形成を図るための対話と参加の機会をどのように広げていくか伺う。	市 長
2. 人口減少対策としての若者流出防止および主体的な政策参画の推進について	本市の最大の課題である 20 代を中心とした若年層の著しい流出に歯止めをかけ、地域の持続可能性を確保することは喫緊の課題である。「学生応援ふるさと便」の成果検証と展開、若者が自らまちづくりに参画できる「若者会議」等の制度化、ならびに U ターン・関係人口創出につながる同窓会支援策の導入について所見を伺う。 ① 「学生応援ふるさと便」の成果評価と今後の展開について	市 長



	本事業における定量・定性データによる成果把握の状況、ならびに「送る支援」から交流・相談窓口の開設等「次の一手」への発展策について伺う。 ②「若者会議」等の創設による若者の主体的政策参画の制度化について 新城市の「若者会議」等の事例を踏まえ、単なる意向調査にとどまらず、若者が自ら政策提案や予算活用に関与できる制度の創設について見解を伺う。 ③若者世代の同窓会開催支援を通じた若者政策の体系化について 若者世代の同窓会開催補助をきっかけとした地元回帰・Uターン促進・関係人口創出の取組を、若者政策の一環として体系化し導入する意向について伺う。	
3. 特産品「中山かぼちゃ」の地理的表示（GI）登録と長期的ブランド戦略について	「稼ぐ農業創出事業」がスタートするなか、本市独自の強みである「中山かぼちゃ」の付加価値を最大化させ、地域農業の発展につなげることが求められている。国の「地理的表示（GI）保護制度」への登録検討、および単発のPRを超えた総合的・長期的なブランド戦略の構築について、市の取組と認識を伺う。 ①国の「地理的表示（GI）保護制度」への登録可能性と推進体制の構築について 地域団体商標との重複登録を含め、GI登録がもたらす高い信頼性と差別化効果に対する評価、ならびに「稼ぐ農業ワークショップ」等での検討推進について伺う。 ②農業政策の柱としての長期的な総合ブランド戦略の整備について 品質管理・ストーリー発信・知的財産保護・加工品開発等を組み合わせた総合的なブランドガイドラインおよび実効性のある推進体制の構築に向けた市長の決意について伺う。	市 長
4. 協働によるJR烏山線の再生と「まちの玄関口」としての駅前魅力向上について	利用低迷が続くJR烏山線は本市の公共交通の要であり、維持管理（守り）と利用創出（攻め）の双方を視野に入れた持続可能な仕組みづくりが不可欠である。各駅を「まちの顔」として再生する住民・事業者等との協働、有志による駅前美化活動への継続的行政支援、ならびにインパクトある利用促進策の拡充について伺う。 ①各駅を地域の玄関口として再生する住民・行政・鉄道会社の協働による取組について 壬生町等の先進事例を踏まえ、本市内5駅を「まちの顔」として捉え直し、住民主体の美観活動や居心地の良い空間づくりを進める現状認識と協働方針について伺う。 ②烏山駅「花いっぱい運動」等への組織的・継続的な行政支援体制の確立について 個人の善意に頼っている駅前美化活動の課題を認識し、市がコーディネーターとして苗・資材支給や広報等の直接支援を重点施策化する意向について伺う。 ③「フリー乗車 DAY」やイベント等の利用促進施策の拡充について	市 長

	県民の日や開業記念日等を活用した「1日無料乗車 DAY」やスタンプラリーなど、子ども・子育て世代を呼び込む呼び水としての利用促進拡充策について伺う。				
5. 条例の趣旨に鑑みた公共空間（市庁舎）の美観整備と規範の徹底について	「美しく住みよい環境づくりに関する条例」において自ら環境整備の責務を負う本市が、烏山庁舎や南那須庁舎の樹木放置や構造物破損を長期間放置している現状は、理念との矛盾（言行不一致）を生じさせている。「ABC/R 運動（立腰）」の精神に基づき、市が率先して足元の美観を整える姿勢と具体的な是正措置について伺う。 ①庁舎における景観課題の把握状況と条例の理念との整合性について 烏山庁舎の樹木枝枯れ・繁茂や南那須庁舎の構造物破損等の課題を本市はいつ把握し、これまでどのように対応してきたのか伺う。また、「美しく住みよい環境づくりに関する条例」に基づき市民や事業者に環境整備を求める立場として、現状の放置状態が条例の理念と整合していると考えるか、本市の認識を伺う。 ②「ABC/R 運動（立腰）」の理念に基づく率先垂範と具体的な改善・維持管理体制について 市民へマナーや環境美化を求める行政として、自らの足元を整える「ABC/R 運動（立腰）」の精神を庁舎管理においてどのように実践していくのか伺う。また、放置された箇所の早期修繕に向けた具体的な対応計画と、今後の全庁的な環境維持・点検体制の強化策について伺う。	市長			
6. 要配慮者の生命を守る「個別避難計画」の策定推進と理解促進について	頻発・激甚化する災害から自力非難が困難な高齢者・障害者等の命を守る「個別避難計画」は、防災の最重要化題である。本市の作成率が県内最低水準に留まっている課題に対する具体的な改善策、ならびに那珂川町等の他自治体の先進事例を踏まえた、抜本的な体制強化に向けた市長の決意について伺う。 ①個別避難計画の最新作成率と数値目標に向けた改善策について 最新の作成率（前年度 13.3%からの改善幅）、対象者への訪問・説明実績、および今年度内に「県平均以上」へ引き上げる具体的方策について伺う。 ②個人情報保護への不安解消と他自治体（那珂川町、茂木町）の成功事例に学ぶ周知強化について 情報管理の安全性に関する丁寧な周知手法、作成率 100%を達成した那珂川町等との要因分析比較、および計画作成の大幅な強化に向けた意向について伺う。	市長			
総計時間	75 分	発言所要時間	38 分	答弁を求める予想時間	37 分